

枚方 上之町

その49

(平成18年5月1日号—第242号)

枚方市駅から鉄道高架沿いに西へ500メートル、緑が色濃い万年寺山への階段を登ると急に視界が開けてきます。ここ万年寺山眺望拠点からは、雄大な淀川の流れや芝生が広がる河川公園、遠くは摂津の山々や大阪市内の高層ビル群まで見渡せます。文禄4年(1595)、豊臣秀吉はこの地に御茶屋御殿を建て、行き交う船や街道の人の流れを監視させるとともに、枚方城主であった本多政康の娘・乙御前[おとごぜん]を住ませたとともにいわれています。御茶屋御殿は延宝7年(1679)枚方宿の大火で類焼、消滅しました。



84 御茶屋御殿跡

御殿跡に隣接して鎮座する意賀美[おかみ]神社は、明治初期の廃仏毀釈[はいぶつきしゃく]で廃寺となった万年寺跡に、伊加賀から移された式内社です。10月中頃の秋祭りには、ふとん太鼓の巡行が旧枚方宿地区でにぎやかに行われます。



85 旧万年寺石塔

花が終わり青葉を増しつつある意賀美神社の梅林は、かつて枚方小学校があったところで、一帯は「万年寺山の緑陰」として枚方八景の一つにも選ばれています。

神社から南東へ少し歩けば樹齢700年、府の天然記念物・むくの木もあります。閑静で落ち着いたまちなみの枚方上之町界わいを、皆さんも一度散策してみませんか。